

目次

1.新設計書の概念や変更点

- ①旧設計書と新設計書の使い分け……2
- ②設計書の保存方法の変更……3

2.設計書の起動や作成/操作

- ①新設計書 (頁2015) の起動……4
- ②旧設計書 (頁2014) の起動……5
- ③直接工事費を開く各グループ……6
- ④各ボタンの機能……7
- ⑤旧設計書の設計書を取り込む……8
- ⑥階層や内訳書を作成する……9- 10
- ⑦内訳書作成直後の動作設定……11- 12
- ⑧代価/内訳詳細の入り方と戻り方…13
- ⑨右クリックメニューについて……14
- ⑩新設計書のコマンドバーについて…15
- ⑪夜間/亜熱帯工事に設定する……16
- ⑫単価倍率/金額を一括変更する……17
- ⑬単価を管材/処分費に設定する……18
- ⑭共通仮設費の積上げ方……19- 20

3.新設計書の各種設定

- ①表紙の設定……21
- ②諸経費の設定……22

4.印刷機能について

- ①表示中のページを印刷する……23
- ②印刷フォーマットの設定……24- 25
- ③印刷対象の設定……26
- ④設計書名や単価表の設定……27

- ⑤その他印刷の設定……28

5.PDF/ Excelの出力

- ①PDF/ Excel形式で出力する……29

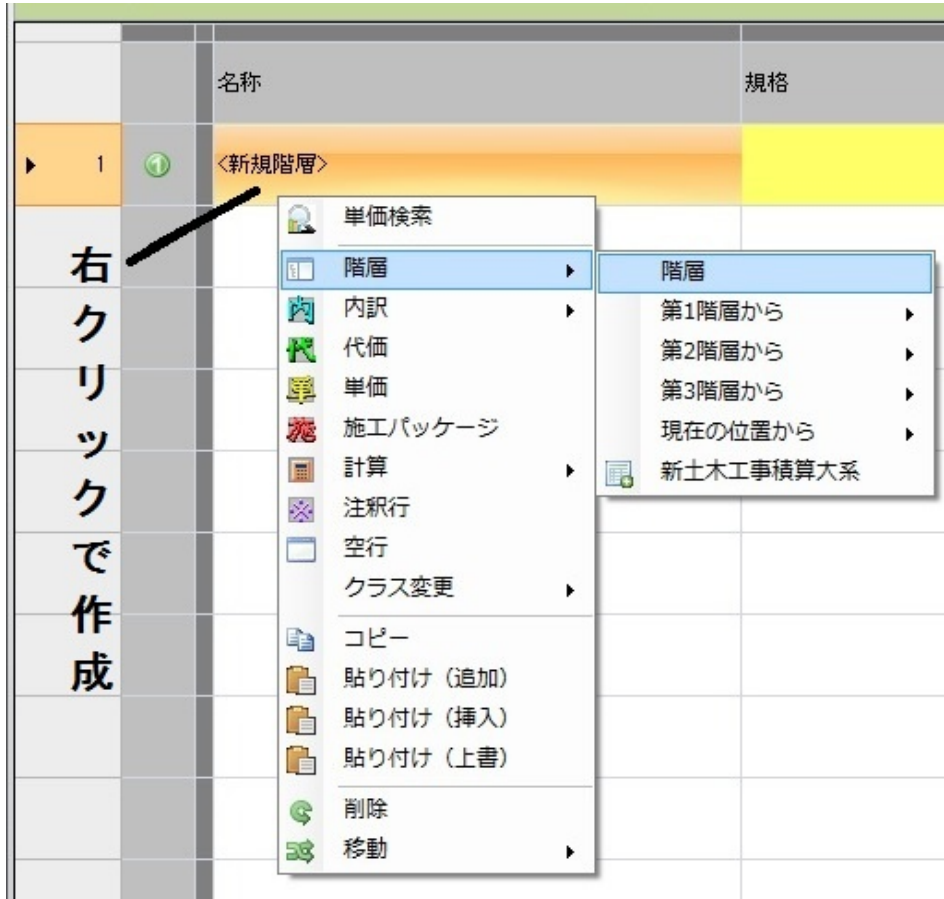
6.その他/更なる活用

- ①内訳/代価番号の採番……30- 32
- ②内訳/代価の表示行数……33
- ③単価一覧画面について……34- 35
- ④内訳書名称を任意で設定したい…36
- ⑤スペースを含んで検索する……37
- ⑥施工パッケージの材料を変更する…38- 39
- ⑦施工パッケージを検索する……40
- ⑧旧単価を新年度単価に更新する……41

新設計書は旧設計書の機能を継承し、大きく変わりました。より多くの機能より柔軟な設定ができる反面、旧設計書と完全互換ではなくなります。

新設計書と旧設計書を使い分ける必要があります。
 新設計書：新規作成工事及び2014年度作成した設計書も可能です。
 旧設計書：以前に作成した設計書で、変更設計を作成するとき。

主な変更点1 右クリックで階層や内訳の作成



主な変更点2 設計書へ転送した施工パッケージが単価ではなく、代価として詳細を確認出来るようになりました。

	代表機材規格(現地)	単位	構成比	単価(現地)	補正式	摘要	コード	計算数量	単価(東京)
▶ K	機械	-	56.59						-
K1	ブルドーザ[湿地・排出ガス対策...	供用日	56.59	24,100			M010102220020	0.0057	24,100
R	労務	-	21.93						-
R1	特殊運転手	人	21.93	17,500			Y0000001636	0.0031	17,100
Z	材料	-	21.48						-
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油	㊿	21.48	129			Y0000000277	0.4896	106

旧設計書では、書き換える度に自動で上書き保存されてました。
 今回の新設計書では、ユーザの意思で保存を行なう事が出来ます。

保存方法の変更

1.例えば、下記の設計書があったとします。

		名称	面	金額	摘要
1	①	本工事		1,380	
2	②	土工		1,380	
▶ 3	内	舗装工		1,380	1,380

2.「舗装工」の下に、単価を1つ作ったとします。この時点で、
 旧設計書では上書き保存がされていました。

		名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘
1	①	本工事		式	1		53,180	
2	②	土工		式	1		53,180	
3	内	舗装工		式	1	1,380	1,380	
▶ 4	単	GX形DIP柱	φ75	個	2	25,900	51,800	

作成した単価

3.今回、新設計書では保存を行わず、ユーザの意思で
 上書き保存をする事で保存となります。

保存する時の注意事項

保存する前に以下の注意事項をお読み下さい。

- ①保存を行なっていない場合は、予め保存を行なう必要が有ります。
- ②設計書の保存は各ボタン、あるいはコマンドバー等から出来ます。
 ※詳細は7ページ、15ページをご覧ください)

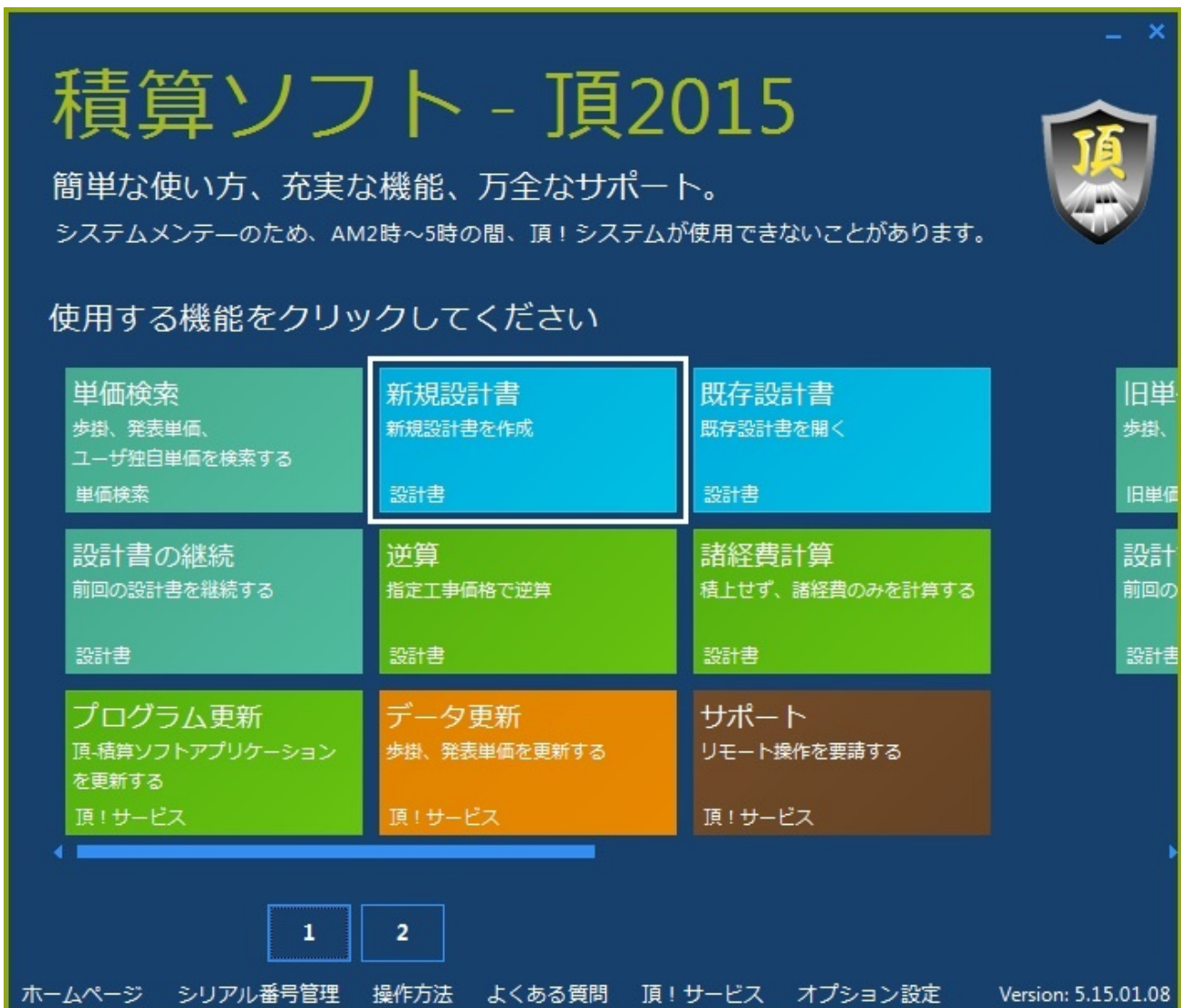
新設計書のアプリケーションの起動方法です。

新設計書(頂5)を起動する

1. 「頂」のアイコンをダブルクリックし、スタート画面を起動します。



2.画面内下部の「新規設計書」をクリックします。



3.新設計書が起動した事を確認します。初めて起動した時は諸経費の画面が表示されます。

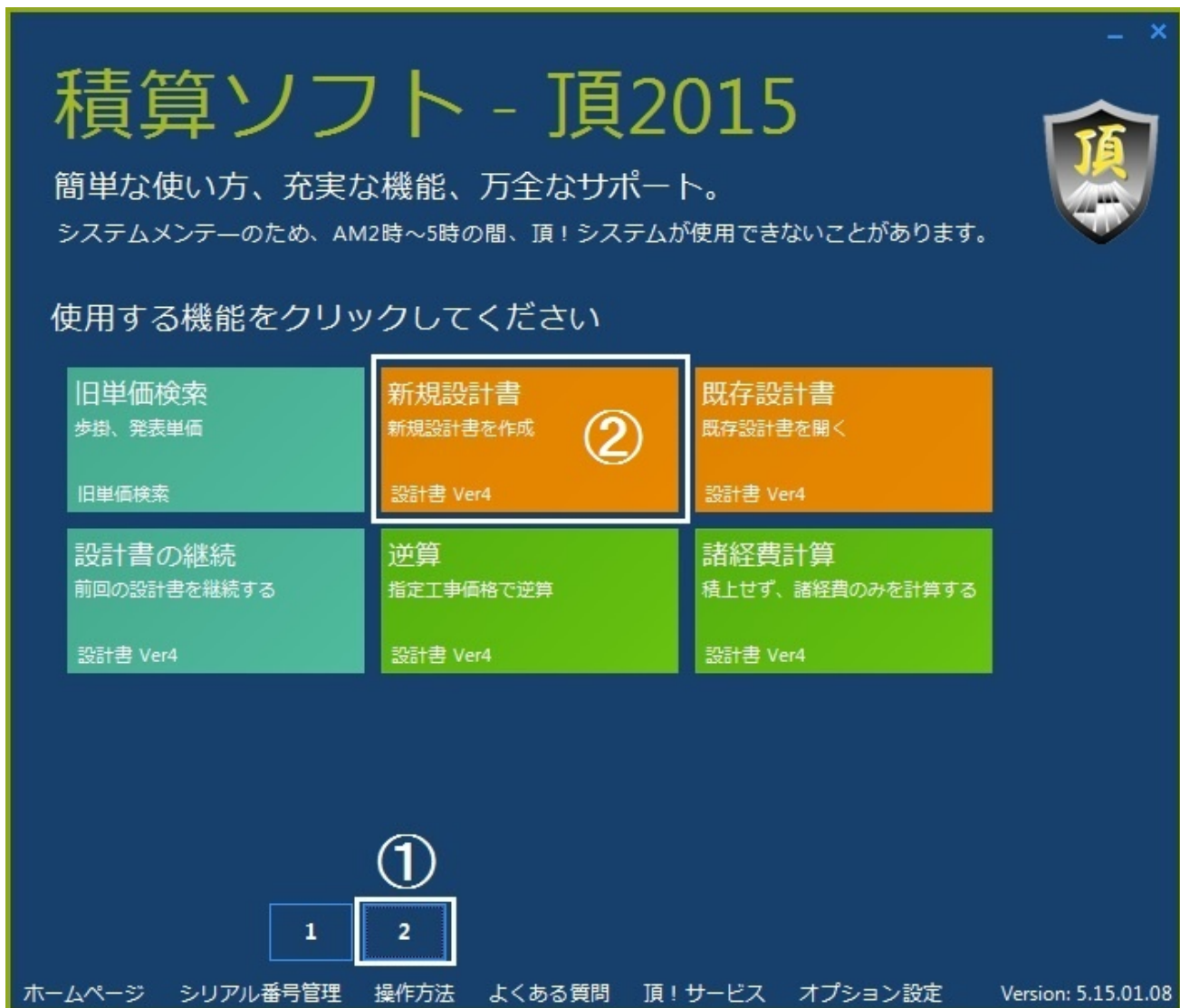
旧設計書のアプリケーションの起動方法です。

旧設計書(頂4)を起動する

1. 「頂」のアイコンをダブルクリックし、スタート画面を起動します。



2.画面内下部の①をクリックし、新規設計書(設計書 Ver4)」をクリックします。



3.旧設計書が起動した事を確認します。

新設計書画面の左側に、各グループでメニューを持っています。
設計書の作成や、各種設定変更、修正をする時に使用します。

各グループとは？

1.各グループとは、下記画像の①の部分の意味します。



3.枠内の②について

【工事費内訳】

設計書画面を表示します。
ここから積算が行えます。

【諸経費】

経費条件や経費詳細等、諸経費
に関する設定画面を表示します。

【単価一覧】

「直接工事費」で使用している
単価を表示します。

【各種設定】

諸経費、端数処理等の積算する
上で必要な設定や、その他変更
設計、表紙設定が行えます。

各アプリのクイック起動や設計書の保存、金額の再計算などが行えます。

各ボタンの機能

1.各ボタンとは、下記画像の①の部分の意味します。



【単価検索】

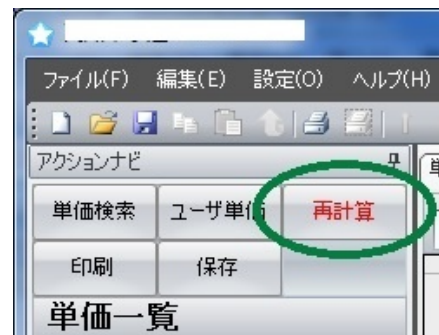
旧設計書と同様、単価検索が起動します。

【ユーザ単価】

新設計書専用のユーザ単価が起動します。

【再計算】

諸経費条件を変えたり、単価一覧である単価の金額を修正した時等、**金額変更に関わる事を行った場合**に使用します。また、従来通り必要な時に赤文字に変わります。



【印刷】

印刷開始前に、**予め印刷設定が開きます。**設計書を印刷したい時に使用します。

【保存】

状況により動作が変わります。
初めて設計書を保存する場合は **名前を付けて保存** と同じ動作です。
既に保存してある設計書の場合は **上書き保存** と同じ動作です。

旧設計書のVF形式に設計書を、仮想的に日助交換し新設計書へ引き継ぎます

■変換する前の注意事項

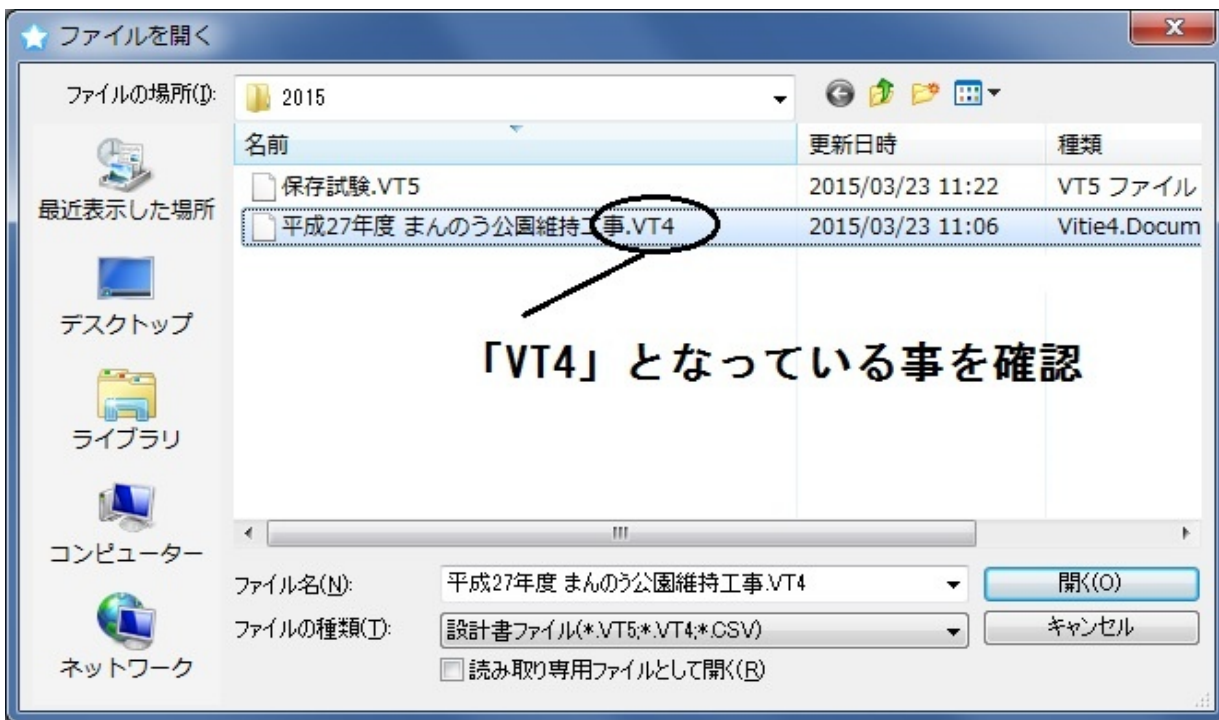
変換する前に以下の注意事項をお読み下さい。

- ①設計書の引き継げるデータは直接工事費と共通仮設費の部分のみです。
- ②諸経費等の部分は引き継がれませんので、手動で修正する必要があります。

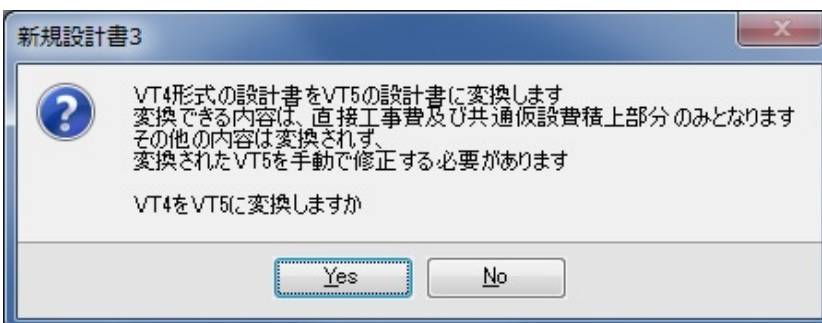
■新設計書で旧設計書を取り込む

1.コマンドバーのをクリックします。
(※コマンドバーについては15ページをご覧ください)

2.旧設計書で作った、拡張子が「VT4」のファイルを開きます。



3.開くと警告が表示されます。本ページの注意事項と画面の警告をよく読んだ上で、宜しければ「YES」をクリックします。



4.設計書が開いた事を確認します。

新設計書では階層や内訳書を作る操作が変わりました。
以前はプルダウンメニューから、今回は右クリックで作成を行います。

新設計書で作成する

1. 「直接工事費」を表示します。
2. 任意でセルを選択し、右クリックするとメニューが開きます。
選択されていないセルで右クリックしても同じです。

新規設計書2

ファイル(F) 編集(E) 設定(O) ヘルプ(H)

アクションナビ

単価検索 ユーザ単価 再計算

印刷 保存

工事費内訳

- 直接工事費
- 共通仮設費積上額
- 現場管理費積上額
- その他工事費用

直接工事費

名称 直接工事費

規格

名称	規格
<右クリックで操作メニューを表示>	
単価検索	
階層	▶
内訳	▶
代価	
単価	
施工パッケージ	
計算	▶
注釈行	
空行	
クラス変更	▶
コピー	
貼り付け (追加)	
貼り付け (挿入)	
貼り付け (上書)	
削除	
移動	▶

①セルを選択

② 右クリックする

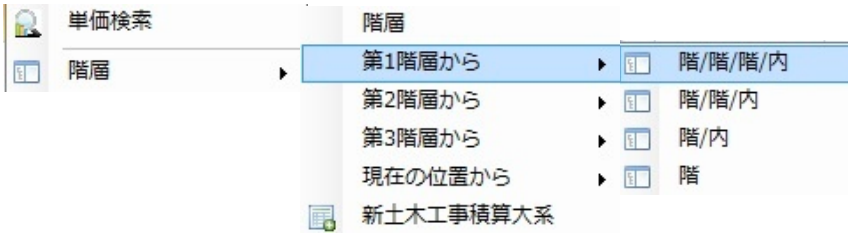
【単価検索】

単価検索が起動します。

次ページへ続きます

【階層】

「階層」にマウスを置くと、メニューが開きます。
例えば、「第1階層から」→「階/階/階/内」を実行すると、①(画像参照)の様に作ります。



		名称
1	①	<新規階層>
2	②	<新規階層>
3	③	<新規階層>
▶ 4	内	<新規内訳>

【第2階層以降】

第2階層以降は下記のメニューが表示されます。第2」や「第3」は階層のレベルを意味します。



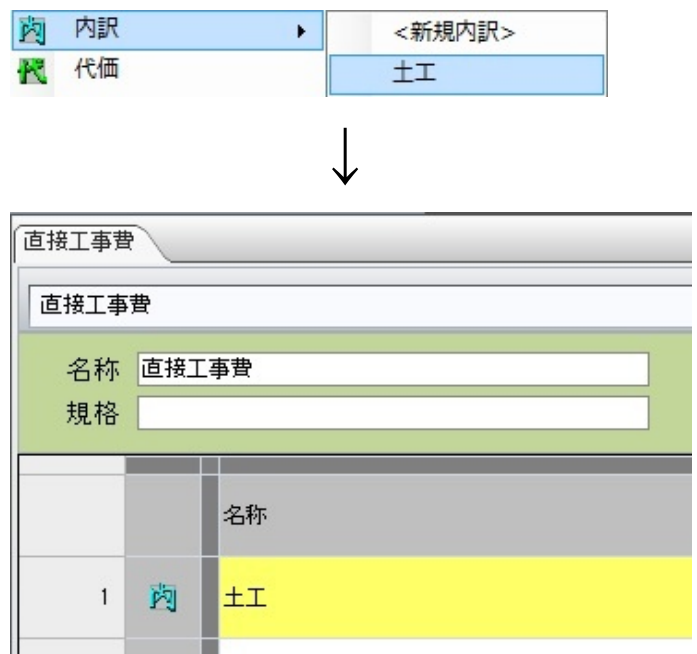
【内訳書】

「階層」と同様、マウスを置くとメニューが開きます。
「土工」や「舗装工」等を選択すると、名称が定義された内訳書を作成します(画像参照)。

①メニューを展開する



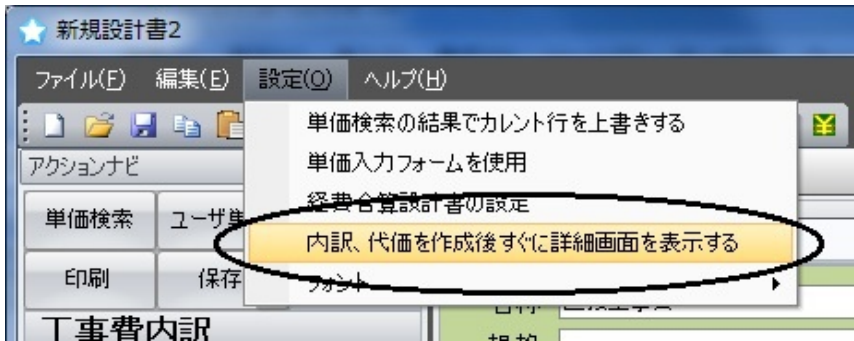
②名称定義された内訳書を作成



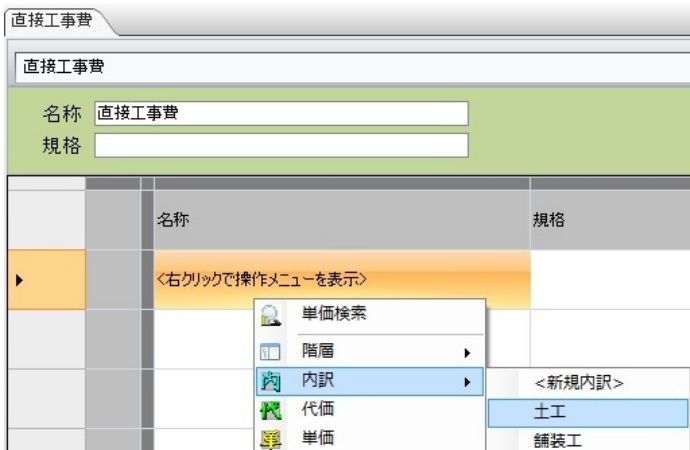
内訳書を作成した時の動作設定を変更出来ます。
作成直後に内訳詳細へ入るか、そのまま維持か設定が行えます。

動作設定を変更する

1. ツールバーの「設定」から、内訳、代価を作成後すぐに詳細画面を表示するをクリックしチェックを付けます。



【チェックを入れた場合】
内訳書を作成後、即詳細へ入ります。



作成直後 ↓



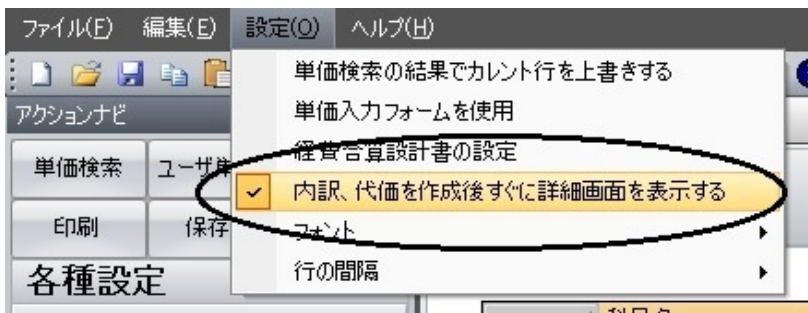
【チェックを外している場合】

内訳書を作成後、直接工事費の画面を表示したままにします。



		名称	判
▶	1	土工	

2.もう一度、同じ設定をクリックする事でチェックが外れます。



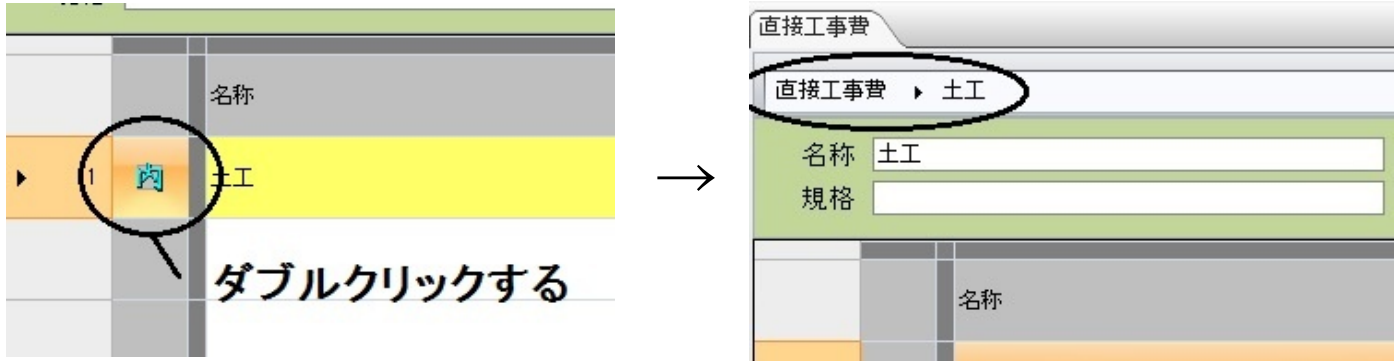
詳細へ入る、名称の編集等は、旧設計書にめつた「ダブルクリックの動作設定」を

使わずに行う事が出来ます。ユーザ側で設定する必要も無くなりました。

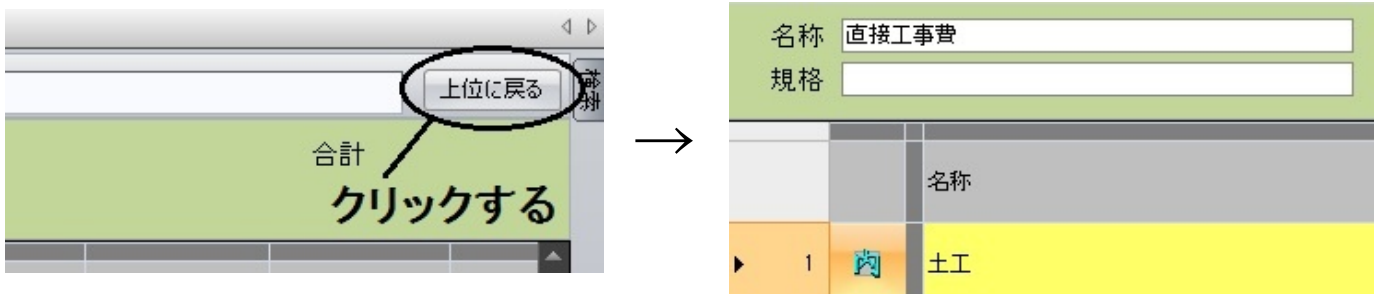
詳細への入り方と戻り方、名称の編集方法

1.内訳書、または代価を作成します。(※作成方法は9~10ページ目をご覧ください)

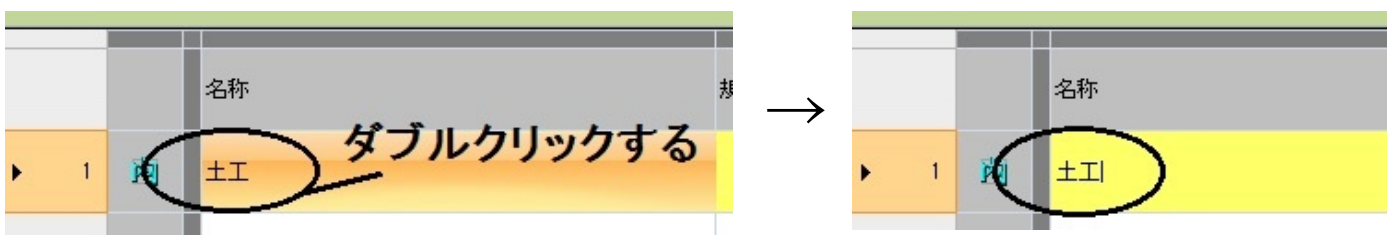
2. 内」をダブルクリックすると、詳細へ入ります。



3.右側の「上位へ戻る」をクリックすると、上位へ戻ります。



4.名称をダブルクリックすると、名称の編集モードになります。



階層や内訳書の作成だけではなく、その他単価の作成や、コメントを追加する等の操作も行えます。コピーや貼り付けも可能です。

右クリックメニューの機能

1.任意のセルで右クリックをします。



代価】 代価を作成します。

単価】 単価を作成します。

【施工パッケージ】

作成などは行わず、単価検索の施工パッケージが開きます。

【計算】

小計」や 合計」、計算式」が含まれています。

【クラス変更】

代価⇄内訳」や、階層⇄代価」等、階層、内訳、代価の3つなら自由に変更出来ます。

【コピー】

選択した行のコピーを行います。連続して選択すれば、複数行のコピーが可能です。

【貼り付け】

コピーした物を貼り付けします。
追加 :最下行に貼付
挿入 :任意で選択した行の上行に貼付
上書 :任意で選択した行を上書

【注釈行】

コメントを挿入出来ます。
使用例1：明日はここから積算」
使用例2：代わりに〇〇の材料使用」

【空行】

何処でも自由に挿入出来ます。挿入した箇所を選択した状態で、単価検索から転送を行うと上書きする事が出来ます。

【削除】

選択した行を削除します。コピー同様、複数行の削除が可能です。

【移動】

階層のレベルを変更をする時に使います。

設計書の新規作成や上書き保存等のファイル操作、階層のレベル変更、夜間/亜熱帯工事、単価一括変更等が行えます。

コマンドバーの機能

1. ツールバーの下にコマンドバーがあります。



新規作成

新規設計書を作成します。保存されてない場合、作成前に保存するか警告が出ます。

階層のレベル・順番の変更

← →」:階層のレベルを変更出来ます。
↑ ↓」:内訳や単価等を移動出来ます。

【ファイルを開く】

保存済の設計書を開きます。

【夜間工事】

内訳書や代価を夜間工事に設定します。
※詳しくは16ページ目をご覧ください。

【ファイルを保存】

各ボタンの「保存」と同じ動作です。
※各ボタンについては7ページ目をご覧ください。

【亜熱帯工事】

内訳書や代価を亜熱帯工事に設定します。
※詳しくは16ページ目をご覧ください。

【コピー】

右クリックの「コピー」と同じ動作です。
※右クリックについては14ページ目をご覧ください。

【電卓】

Windows付属の電卓が起動します。

【貼り付け】

右クリックの「貼付け挿入」と同じ動作です。
※右クリックについては14ページ目をご覧ください。

【バージョン情報】

新設計書のバージョンを表示します。

【上行コピー】

選択した行の1つ上行をコピー&貼付け一括で行います。最下行に貼り付きます。

【単価一括変更】

処分費や労務費などの単価を一括で変更します。 ※詳しい操作は17ページ目をご覧ください

【印刷】

設計書の印刷を行います。更に1つ右の印刷は、表示中のページを印刷します。
詳しい操作は23ページをご覧ください。

【工事価格を表示】



積算中の設計書工事価格を表示します。諸経費画面の工事価格と同じです。

【最低制限価格計算】

以前のVT4で搭載していた「最低制限価格」の最新版です。

新設計書では夜間工事だけではなく、亜熱帯工事も行えます。

夜間/ 亜熱帯工事の設定方法を知る

2.内訳書詳細へ入り、コマンドバーの  /  のどちらかをクリックします。
(※コマンドバーについては15ページをご覧ください)

3.設定画面が表示されます。

【夜間工事】

①

対象の代価/内訳詳細の単価が指定倍率通りに変換されます。

②

一般的には0と設定します。職業によって単価倍率を変更したい場合に使用します。

【亜熱帯工事】

①

対象の代価/内訳詳細の数量が指定倍率通りに変換されます。

4.変換された事を確認します。

夜間/ 亜熱帯工事の注意事項

設定する前に以下の注意事項をお読み下さい。

- ①設定変更後は元の単価に戻す事は出来ません。
- ②直接工事費直下では設定が出来ません。詳細で行って下さい。

単価倍率/金額と一括変更
労務費、処分費等対象を選択した上で、単価一括変更が行えます。

単価一括変更の設定方法

1. コマンドバーの をクリックします。
(※コマンドバーについては15ページをご覧ください)

2. 設定画面が表示されます。



単価の一括変更

単価増減方法

単価倍率 %

単価金額 円

計算元の金額

現行金額 初期金額

増減対象費用

材料費 労務費 処分費

損料・賃料 市場単価他

労務費単数処理

実行 キャンセル

【単価倍率】

例えば「50%」の場合は1.5倍となります。

【単価金額】

指定した金額に変更されます。

【計算元の金額】

変更設計が有る場合に使用します。
初期金額 最初に作った設計書が対象です。
現行金額 変更設計が対象です。

【増減対象費用】

チェックの有無で対象を選択出来ます。

【労務費単数処理】

労務費を変更する上で端数が出た場合の処理方法を決められます。

3. 一括変更された事を確認します。

右側の「集計対象」から設定を変更します。

管材/処分費の設定方法

1. 設定したい代価/内訳詳細を開きます。

※開き方については13ページ目をご覧ください

2. 画面下側のスクロールバーを右に動かすと、プロパティが出てきます。

帳票番号	集計対象	出典	計算方法	記号	コード
					UOrfF1_B1311010074
					ULDMjW_B1311010054
					UXA5q2_B1311043004
					UCiZwb_B1311043054

プロパティ

スクロールバー

3. 「集計対象」をクリックすると空白の枠が表示され、更に▼をクリックするとメニューが開きます。

集計対象	出典
▼	

クリックする

→

集計対象	集計値
▼	
変更なし	
管材費	
処分費	
桁等購入費	
支給品等(管材費)	
支給品等(桁等購入費)	
支給品等(一般材料)	
支給品等(別途製作)	
支給品等(電力)	
無償貸付機械評価	
網橋門扉等工場原	
現場発生品	
外注費(共通仮設)	
ダム工事に含まれる	
ダム工事に含まれる	

クリックする

4. 設定したい項目を選択します。

集計対象	集計値
▼	
変更なし	
管材費	
処分費	
桁等購入費	
支給品等(管材費)	
支給品等(桁等購入費)	
支給品等(一般材料)	
支給品等(別途製作)	
支給品等(電力)	
無償貸付機械評価	
網橋門扉等工場原	

クリックする

→

集計対象	集計値
▼	
管材費	管:7300

共通仮設費の積上げ方法の説明です。

共通仮設費の積上げ方

1. 工事費内訳の「共通仮設費積上額」をクリックします。

新規設計書2

ファイル(F) 編集(E) 設定(O) ヘルプ(H)

アクションナビ

単価検索 ユーザ単価 再計算

印刷 保存

工事費内訳

直接工事費

共通仮設費積上額 ②

運搬費

準備費

仮設費

事業損失防止施設費

安全費

役務費

技術管理費

宮繕費

労務者輸送費

イメージアップ経費

現場管理費積上額

その他工事費用

工事費内訳 ①

諸経費

単価一覧

各種設定

共通仮設費積上額

共通仮設費積上額

名称 共通仮設費積上額 帳票番号 内訳第0号

クリックする

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価
1	内	運搬費		式	1	
2	内	準備費		式	1	
3	内	仮設費		式	1	
4	内	事業損失防止施設費		式	1	
5	内	安全費		式	1	
6	内	役務費		式	1	
7	内	技術管理費		式	1	
8	内	宮繕費		式	1	
9	内	労務者輸送費		式	1	
10	内	イメージアップ経費		式	1	

次ページへ続きます

2.例えば「安全費」に、「交通誘導員B」を入れます。

新規設計書3

ファイル(F) 編集(E) 設定(O) ヘルプ(H)

共通仮設費積上額

共通仮設費積上額 ▶ 安全費

名称 安全費 帳票番号 内訳第0号

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
▶ 1	準	交通誘導員B		人	112	7,700	862,400	

3.諸経費画面の「経費計算」を見ると、積上げが出来ている事が分かります。

新規設計書3

ファイル(F) 編集(E) 設定(O) ヘルプ(H)

各種設定

プリセット: 00_デフォルト

選択 保存

科目名	金額/値(当世代)	計算方法
▶ A 直接工事費		自動計算
B 共通仮設費率額		自動計算
C __共通仮設費対象額		自動計算
D __共通仮設費率	0.1253	自動計算
E1 イメージアップ経費率額		計算しない
F1 __イメージアップ経費対象額		計算しない
G6 __イメージアップ経费率		計算しない
H 共通仮設費積上額	862,400	自動計算
I 共通仮設費計	862,400	自動計算
J 純工事費	862,400	自動計算
K 現場管理費率額	362,000	自動計算
L __現場管理費対象額	862,400	自動計算
M __現場管理费率	0.4202	自動計算
MG 現場管理費積上額		自動計算
N 現場管理費計	362,000	自動計算

設計書の表紙の設定が行えます。

表紙の設定方法

1. 各種設定」をクリックすると、自動で「表紙」設定画面を開きます。
2. 複数の設定項目が表示されます。
内容」②)の部分に必要な事項を入力します。

新規設計書2

ファイル(F) 編集(E) 設定(O) ヘルプ(H)

アクションナビ

単価検索 ユーザ単価 再計算

印刷 保存

各種設定

諸経費

表紙(リセット対象外)

工事内容

積算条件

見積情報 ①

積算者情報

端数処理

帳票番号

合算/変更設計(リセット対象外)

その他

工事費内訳

諸経費

単価一覧

各種設定

各種設定

プリセット: 00_デフォルト

選択 保存

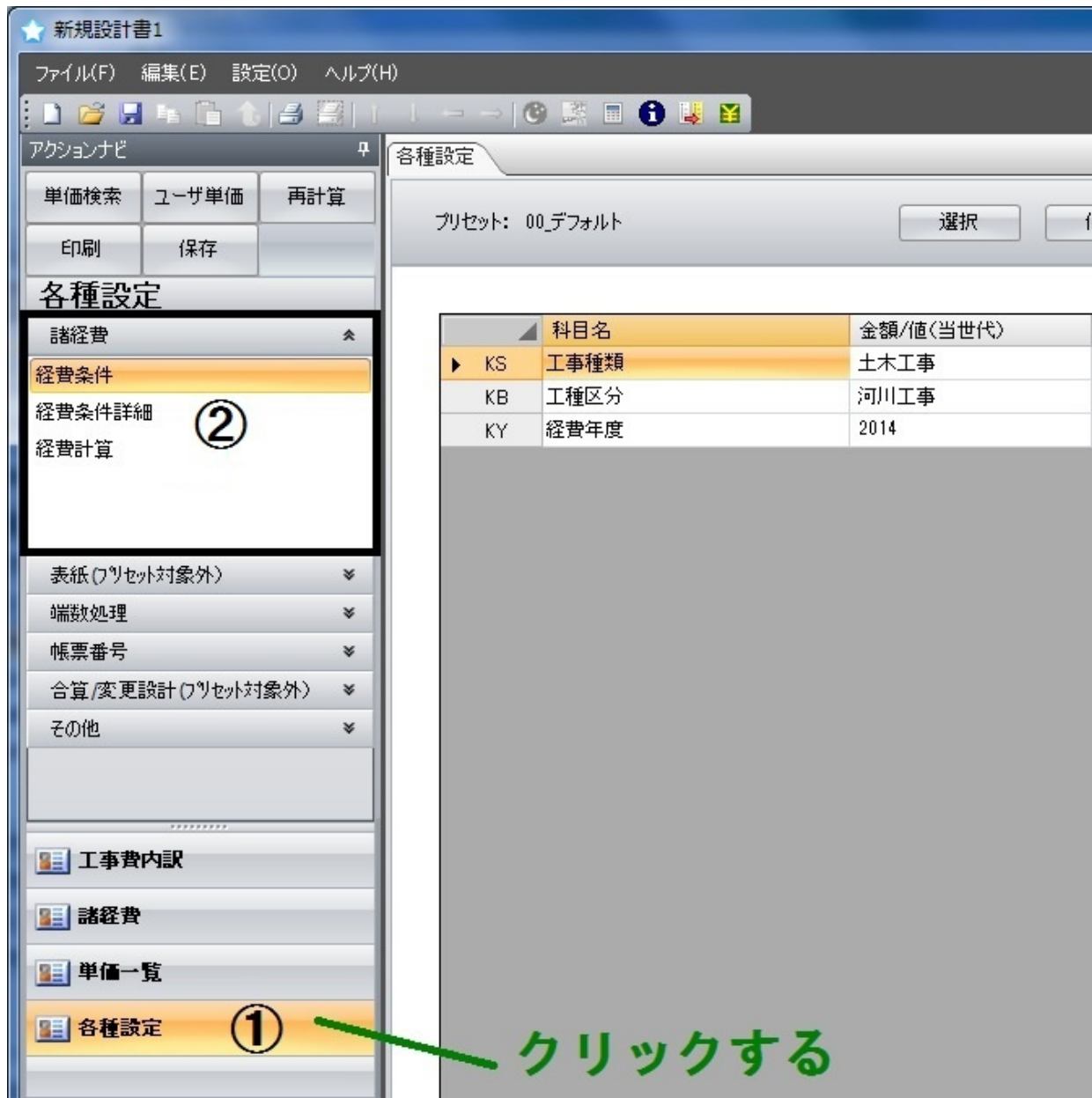
項目	内容
日-工事内容	
— 工事番号	
— 工事名	
— 工事場所	
— 場所名称	
— 工期	
— 起工予定日	
— 竣工予定日	
— 発注者	
— 事業主体	
— 施工年度	
— 概要-1	
— 概要-2	
— 概要-3	
— 概要-4	
— 概要-5	
— 概要-6	
— 概要-7	
— 概要-8	

クリックする

設計書の諸経費の設定が行えます。

諸経費の設定方法

- 1.各種設定の「諸経費」をクリックします。
- 2.複数の設定項目が表示されます。



【経費条件詳細】

直工に含まれる管材/処分費等の金額の確認や、現場管理費補正等の設定が行えます。


【経費計算】

共通仮設費計の確認、共通仮設費率の設定や、工事価格/消費税等の確認、設定が行えます。

設計書全体ではなく、印刷したい部分のみで行えます。例えば、内訳書詳細に入っている時、それより下の子どもは含まずに印刷を行います。

あるページだけを印刷する

1.印刷をしたい設計書を開き、更に内訳詳細、または代価詳細を開きます。
(※開き方は12ページ目をご覧ください)

2.コマンドバーの  ボタンをクリックします。
(※コマンドバーについては15ページ目をご覧ください)。
(※各ボタンの印刷、ツールバーの印刷でも同じです)。


3.生成中の画面が表示されます。



4.生成されたPDFファイルが自動で開きます。

従来の横向き印刷や縦の印刷、名称と規格と別列にした印刷、変更設計の印刷等、色々な印刷フォーマットで出力が出来ます。

印刷フォーマットの種類

1. コマンドバーの  ボタンをクリックします。

※コマンドバーについては15ページ目をご覧ください。
 ※各ボタンの印刷、ツールバーの印刷でも同じです。

2. 「印刷フォーマット」より右側の▼ボタンをクリックするとメニューが開きます。



【50,51】上段下段
 名称や規格の列を別けずに、2段書きで印刷します。

資材費

施

名称・規格など	数量
ダクタイル鋳鉄管GX形S種直管 径100mm×L4m 内面エポ	19

【2,53】上段下段 (名称規格別列)
 名称や規格の列を別けて印刷します。

資材費

名称・規格など	規格
ダクタイル鋳鉄管GX形S種直管	径100mm×L4m内面エポ

【4,55】変更設計左右列
 変更設計がある場合、当初/変更と別けて印刷しま


当初設計			変更設計		
数量	単価	金額	数量	単価	金額
19	29,300	556,700	19	32,000	608,000

【6,57】当初設計左右列
 設計書に変更設計があっても、当初しか印刷しません。

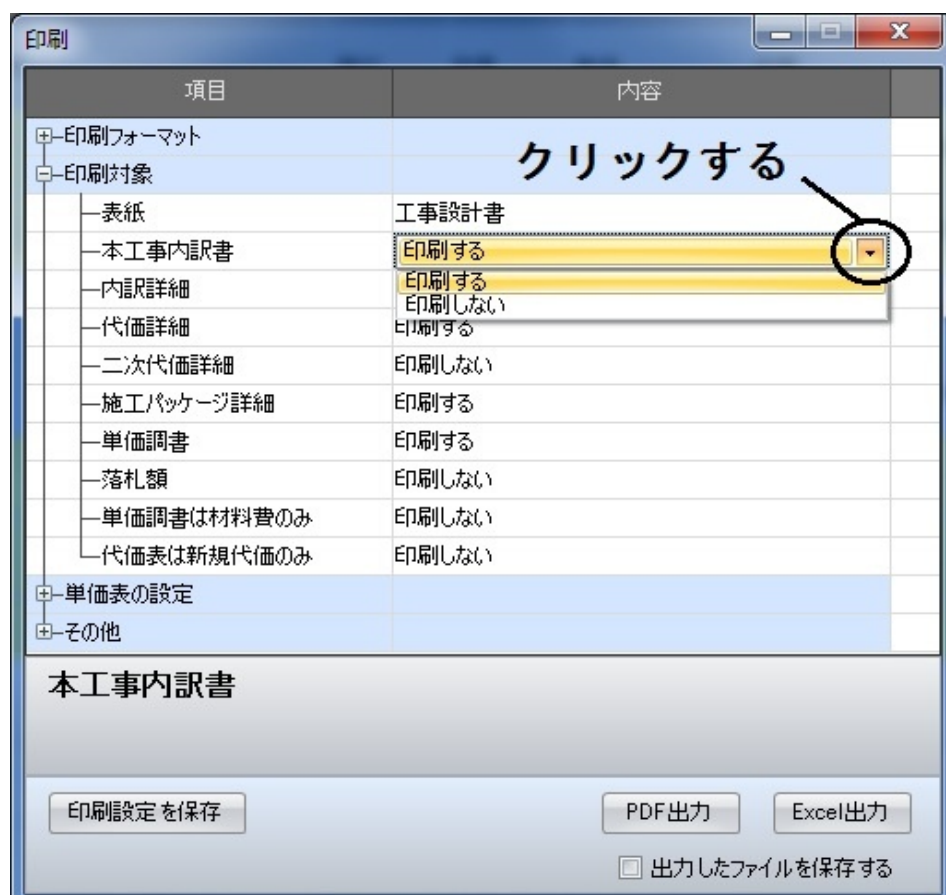
当初設計			変更設計		
数量	単価	金額	数量	単価	金額
19	29,300	556,700			

代価、内訳詳細、2次代価等の印刷対象をユーザ側で設定が出来ます。

設定が出来る項目


1. コマンドバーの  ボタンをクリックします。
※コマンドバーについては15ページ目をご覧ください。
※各ボタンの印刷、ツールバーの印刷でも同じです。

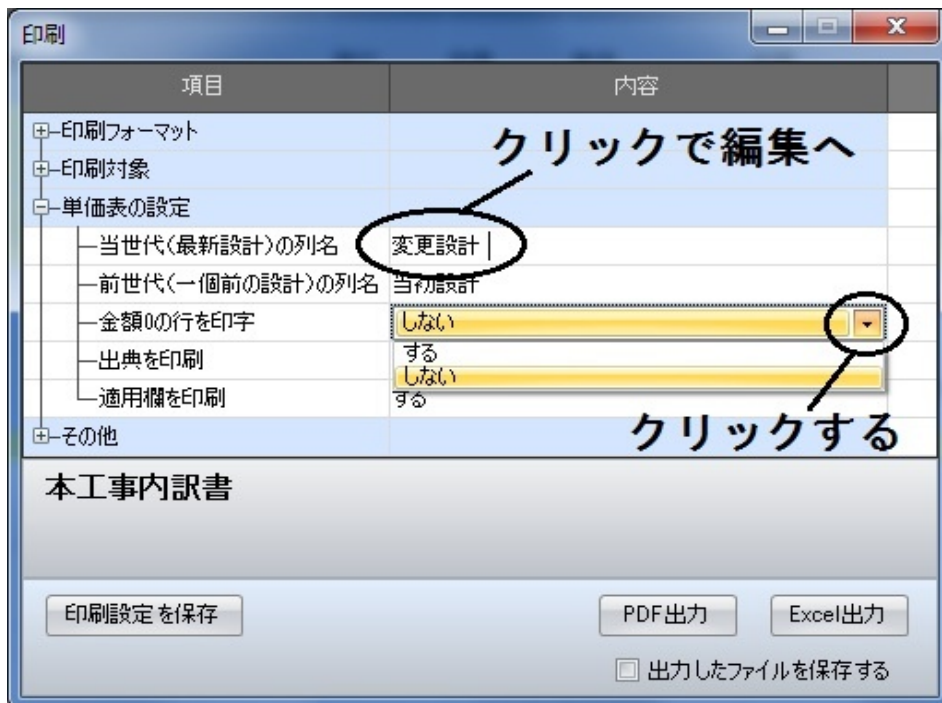
2. 各印刷対象より右側の▼ボタンをクリックするとメニューが開きます。



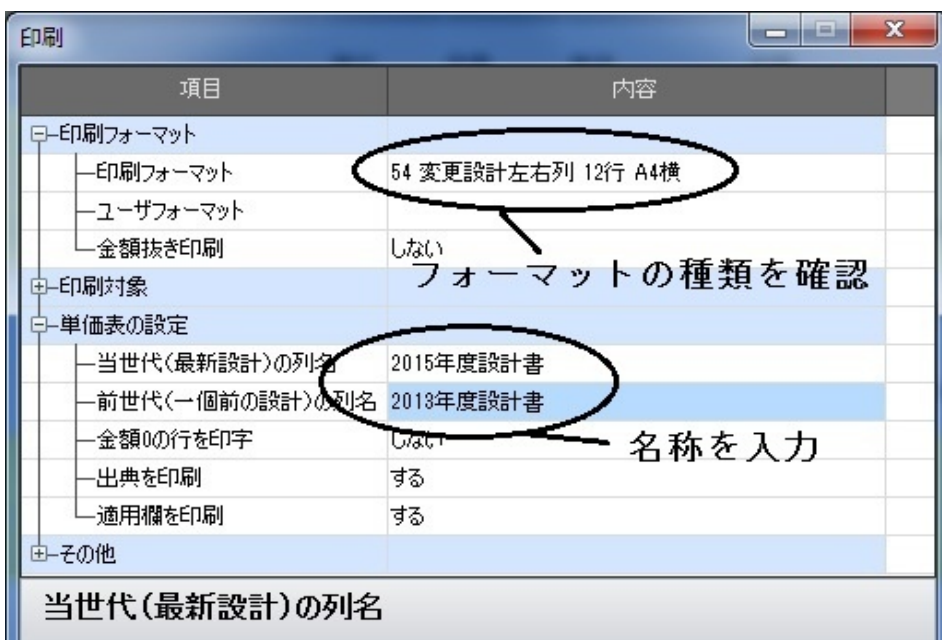
当初/変更設計の名称変更、出典や摘要欄の印字設定が行えます。

設定が出来る項目

1. コマンドバーの  ボタンをクリックします。
 ※コマンドバーについては15ページ目をご覧ください。
 ※各ボタンの印刷、ツールバーの印刷でも同じです。
2. 設計書の名称変更は、クリックする事で編集へ入ります。
 印字設定は右側の▼ボタンをクリックして選択します。




3. 設計書名を変更した場合は、下記の部分が変わります。



2013年度設計書			2015年度設計書		
数量	単価	金額	数量	単価	金額

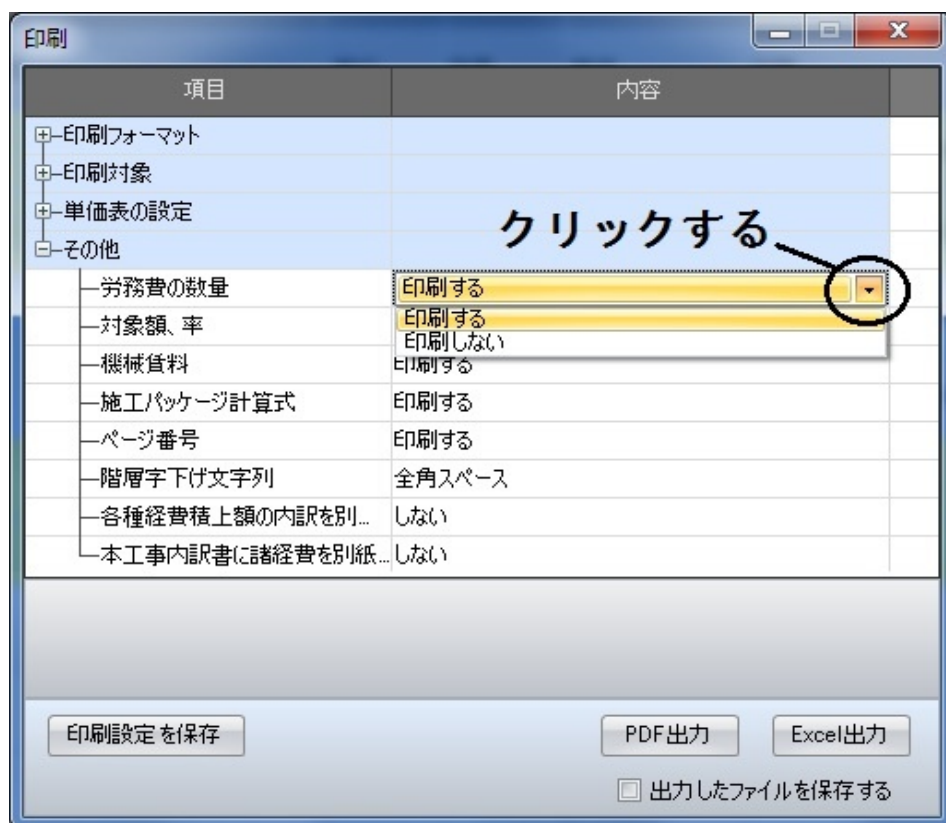
当初/変更設計の名称変更、出典や摘要欄の印字設定が行えます。

設定が出来る項目

1. コマンドバーの  ボタンをクリックします。


※コマンドバーについては15ページ目をご覧ください。
 ※各ボタンの印刷、ツールバーの印刷でも同じです。

2. 各印刷設定より右側の▼ボタンをクリックするとメニューが開きます。

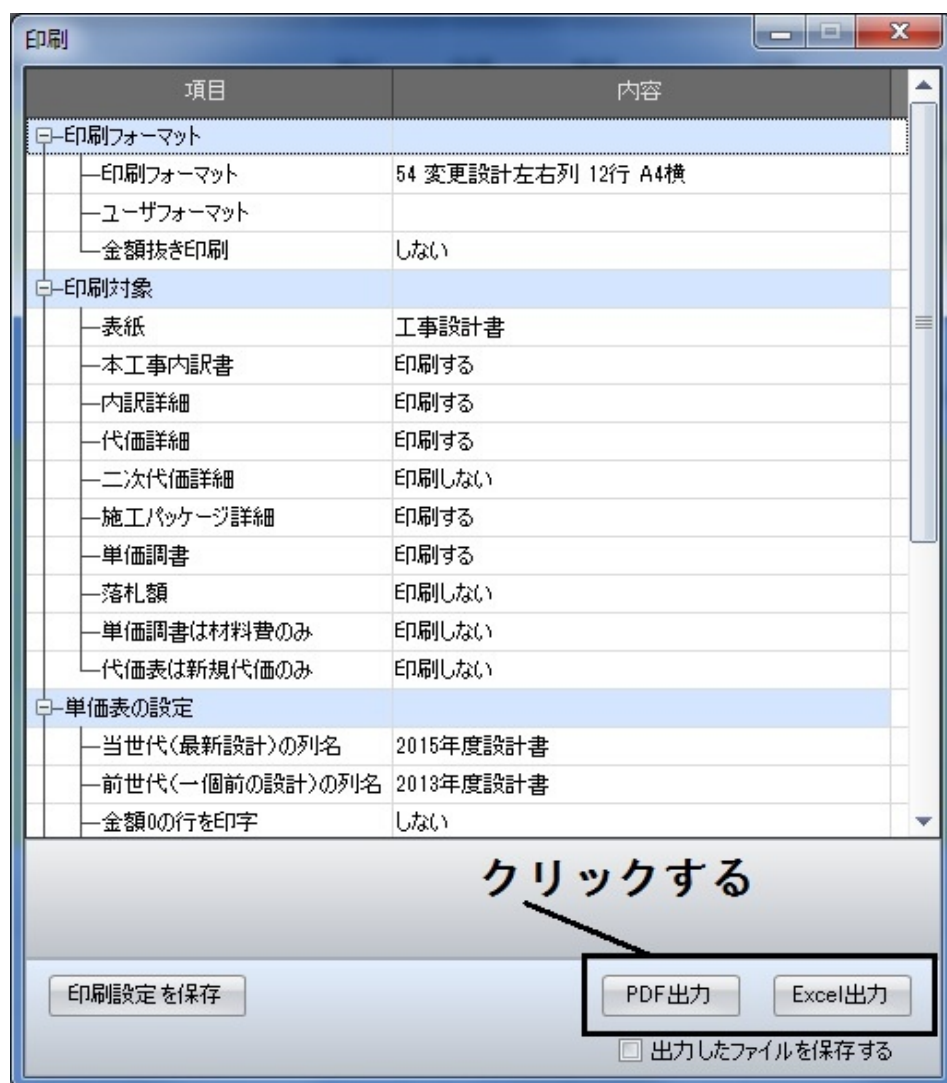


実際の印刷はPDFまたはExcelで出力が出来ます。

PDF/Excelで出力する

1. コマンドバーの  ボタンをクリックします。
※コマンドバーについては15ページ目をご覧ください。
※各ボタンの印刷、ツールバーの印刷でも同じです。

2. 必要であれば各種印刷設定を行い、
PDFまたはExcel出力をクリックします。



内訳や代価等の番号は、手動で機械的に振り直します。

内訳や代価番号を採番し直す

1.各種設定の「帳票番号」をクリックします。必要であれば「開始番号」を任意の数字に変更します。

新規設計書4

ファイル(F) 編集(E) 設定(O) ヘルプ(H)

アクションナビ

単価検索 ユーザ単価 再計算

印刷 保存

各種設定

諸経費

表紙(ワザセット対象外)

端数処理

帳票番号

帳票番号

② クリックする

① クリックする

各種設定

プリセット: 00_デフォルト

選択 保存

	フォーマット	開始番号
▶ 内訳表	内訳第%d号	1
一次代価表	代価第%d号	1
二次代価表	代価第%d号	5000
施工パッケージ	施工第%d号	1

採番する 作成順 表示順

印刷しない代価は採番しない

次ページへ続きます

【作成順】

階層のレベル等は関係なく、昇順に採番します。

【例えば】

最上位から順番に見て内訳があった場合、その内訳から見ます。
下記の場合、3～4行目の内訳詳細に代価が1つずつ存在してるので、
5行目と6行目の代価番号が3号、4号となっています。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号
1	①	作成順		式	1		56,275		
2	②	作成順		式	1		55,961		
▶ 3	内	作成順		式	1	260	260		内訳第1号
4	内	作成順		式	1	21,664	21,664		内訳第2号
5	代	バックホウ掘削積込 山積0.8m3(平0.6) 地山	レキ質土 砂・砂質 土 粘性土 障害 無	m3	1	197	197		代価第3号
6	代	小型バックホウ搬入 搬出作業		回	1	33,840	33,840		代価第4号
7	②	作成順		式	1		314		
8	③	作成順		式	1		314		
9	代	タンクトラック運搬 10t積級 土砂 バックホウ積 込 山積0.8m3 良好	DID区間無 運搬 距離 0.3km以下	m3	1	314	314		代価第5号
10	①	作成順		式	1		1,693		
11	内	作成順		式	1	1,693	1,693		内訳第3号

【表示順】

直接工事費の代価/内訳を昇順で振った後、更に最上位から内訳詳細を順番に見て、番号を振っていきます。

【例えば】

まずは直接工事費内の内訳/代価に対して、昇順で番号を振ります。その後に、3行目の内訳詳細の代価を昇順で振り、次に4行目の内訳詳細の代価を昇順で振っていきます。

行番	種別	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	帳票番号
1	①	表示順		式	1		56,275		
2	②	表示順		式	1		55,961		
3	内	表示順		式	1	260	260		内訳第1号
4	内	表示順		式	1	21,664	21,664		内訳第2号
5	代	バックホウ掘削積込 山積0.8m3(平0.6) 地山	粘性土 砂・砂質土 粘性土 障害無	m3	1	197	197		代価第1号
6	代	小型バックホウ搬入 搬出作業		回	1	33,840	33,840		代価第2号
7	②	表示順		式	1		314		
8	③	表示順		式	1		314		
9	代	タンクトラック運搬 10t積級 土砂 バックホウ積 込 山積0.8m3 良好	DID区間無 運搬 距離 0.3km以下	m3	1	314	314		代価第3号
10	①	表示順		式	1		1,693		
▶ 11	内	表示順		式	1	1,693	1,693		内訳第3号

直接工事費の各ページで表示出来る行数を増やせます。

表示行数の設定方法

- 1.各種設定の「その他」をクリックします。
- 2.右側の「内容」の部分に、数字を入力する事で表示行数を増やせます。

新規設計書5

ファイル(F) 編集(E) 設定(O) ヘルプ(H)

アクションナビ

単価検索 ユーザ単価 再計算

印刷 保存

各種設定

諸経費

表紙(リセット対象外)

端数処理

帳票番号

合算/変更設計(リセット対象外)

その他

独自仕様

設計書表示

クリックする

工事費内訳

諸経費

単価一覧

各種設定

各種設定

プリセット: 00_デフォルト

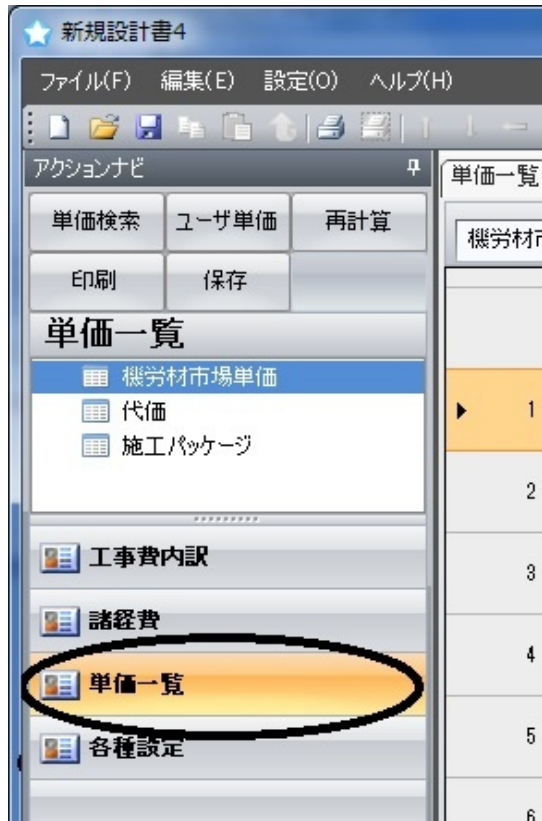
項目	内容
設計書表示	
代価表最大表示行数	100
内訳書最大表示行数	200

数字を入力

労務費や損料等の単価分類、管材/処分費等の集計対象等の確認が行えます

新設計書の単価一覧画面

- 1.各グループの「単価一覧」をクリックします。
一覧には「機労材市場単価」、「代価」、「施工パッケージ」の3種類があります。 ※各グループについては6ページ目をご覧ください。



次ページへ続きます

2.右側の画面に「機労材単価一覧」が表示されます。

3.「労務費」、「損料・賃料」等、単価により分類されます。
 「集計対象」は、「直接工事費」の設定が反映されています。

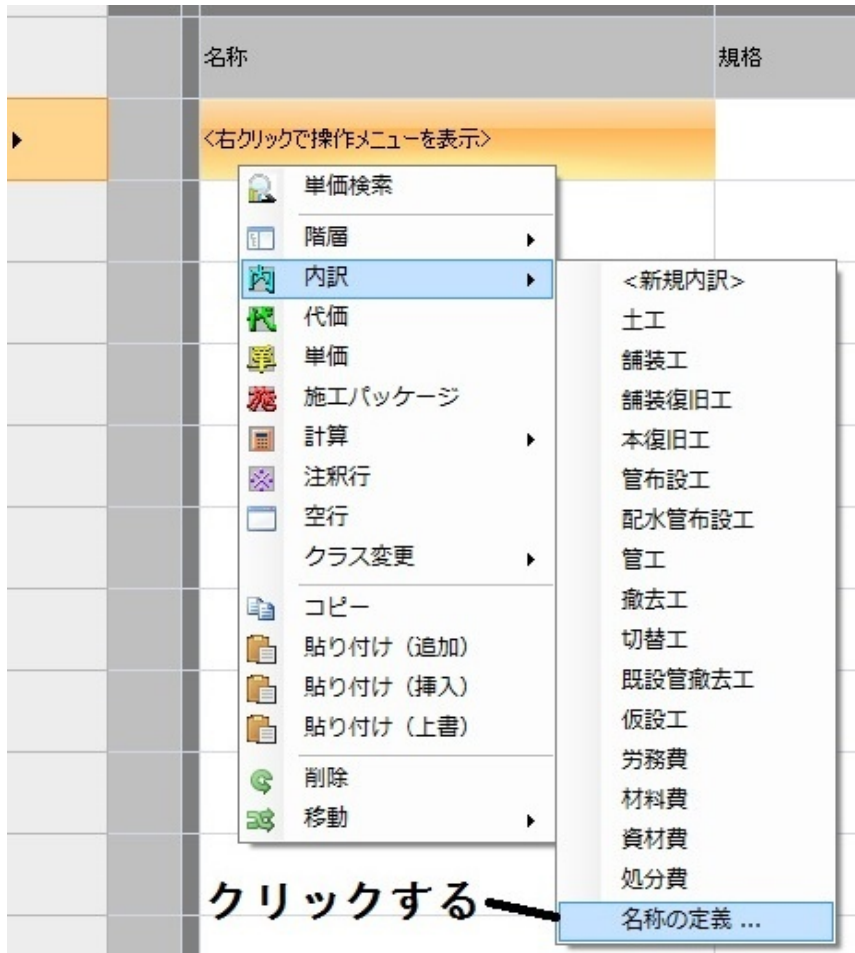
(※集計対象の設定方法は18ページ目をご覧ください)

単価一覧									
機労材市場単価									
	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	単価分類	集計対象
1	【労務費】					163,506			
2	土木一般世話役		人	0.26	17,800	4,628		労務費	
▶ 3	普通作業員		人	8.26	13,700	113,162		労務費	
4	特殊運転手		人	0.585	16,500	9,652		労務費	
5	特殊作業員		人	2.24	16,100	36,064		労務費	
6	【損料・賃料】					7,375			
7	小型バックホウ(加ラ型) 排対型(1次基準)	山積0.13m3(平積)	日	0.585	10,100	5,908		損料・賃料	
8	鑄鉄管切断機損料	φ450以下用	日	1.26	1,165	1,467		損料・賃料	
9	【材料費】					1,907			
10	軽油		リットル	15.136	126	1,907		一般材料費	
11	【管材費】					552,620			
12	GX形 DIP 短管1号	φ75(GF7.5K) 接合	個	18	19,190	345,420		一般材料費	管材費
13	地下式消火栓	FCD製 呼び径75	個	4	51,800	207,200		一般材料費	管材費

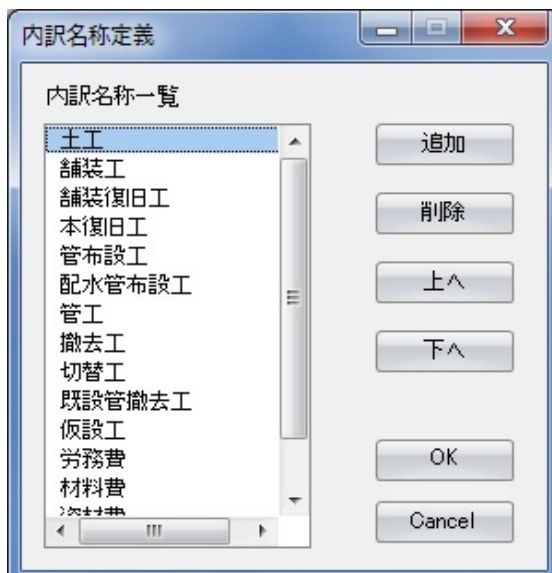
ユーザで定義した内訳書名称をそのまま保存/使用が出来ます。

内訳書名称定義の設定方法

1.直接工事費を開き、任意のセルで右クリック →
内訳 → 名称定義 をクリックします。



2.定義の設定画面が表示されます。



【追加】
任意の内訳名称を定義して追加します。

【削除】
既存の内訳名称を削除します。

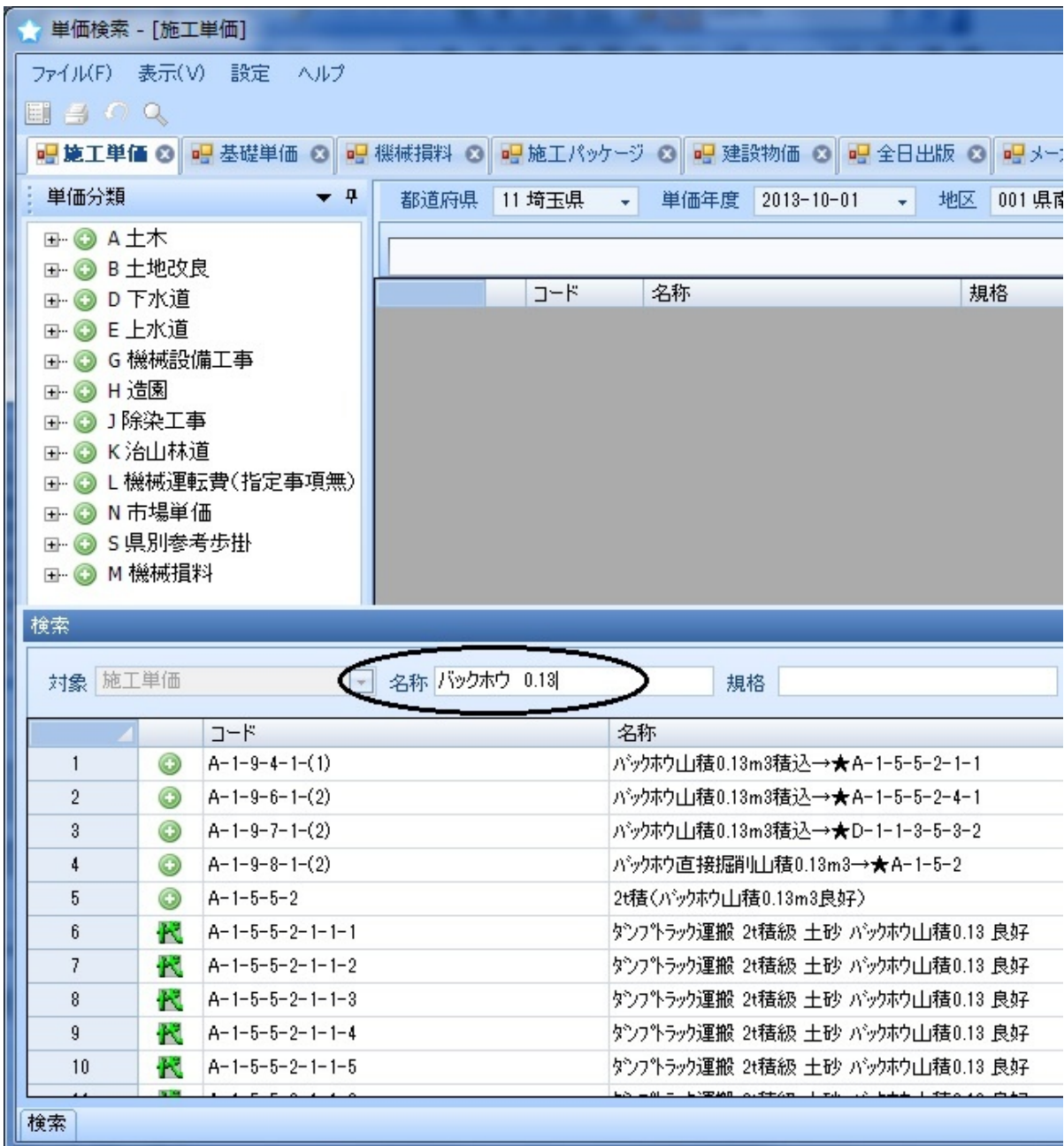
【上~/下~】
定義した内訳の順番を変更できます。

単価の検索をする時に、スペースを含んだ検索が行えます。
これを行う事で、より絞り込んで検索する事が可能です。

スペースを含んだ検索方法

1.直接工事費を開き、単価検索を開きます。

2.単価検索の下部にある検索で、例えばバックホウ 0.13」と検索します。
「バックホウ山積0.13」等、1つの文言だけでの検索ではなく、スペースを含んでも関連する物が検索結果に出てきます。



The screenshot shows a software window titled "単価検索 - [施工単価]". The search bar at the bottom contains "名称 バックホウ 0.13". The results table is as follows:

	コード	名称
1	A-1-9-4-1-(1)	バックホウ山積0.13m3積込→★A-1-5-5-2-1-1
2	A-1-9-6-1-(2)	バックホウ山積0.13m3積込→★A-1-5-5-2-4-1
3	A-1-9-7-1-(2)	バックホウ山積0.13m3積込→★D-1-1-3-5-3-2
4	A-1-9-8-1-(2)	バックホウ直接掘削山積0.13m3→★A-1-5-2
5	A-1-5-5-2	2t積(バックホウ山積0.13m3良好)
6	A-1-5-5-2-1-1-1	ダンプトラック運搬 2t積級 土砂 バックホウ山積0.13 良好
7	A-1-5-5-2-1-1-2	ダンプトラック運搬 2t積級 土砂 バックホウ山積0.13 良好
8	A-1-5-5-2-1-1-3	ダンプトラック運搬 2t積級 土砂 バックホウ山積0.13 良好
9	A-1-5-5-2-1-1-4	ダンプトラック運搬 2t積級 土砂 バックホウ山積0.13 良好
10	A-1-5-5-2-1-1-5	ダンプトラック運搬 2t積級 土砂 バックホウ山積0.13 良好

施工パッケージの材料を、設計書へ転送した後も変更が出来ます。

材料を変更する

1. 転送した施工パッケージの詳細を開きます。

	名称	規格
▶ 1 施	下層路盤(車道・路肩部)	75mm超

ダブルクリックで開く

2. 「Z1」選択し、右クリックから単価検索をクリックします。

アクションナビ

直接工事費 施工パッケージ詳細

直接工事費 ▶ 下層路盤(車道・路肩部)

名称 下層路盤(車道・路肩部) UEBelE-P133_1
規格 75mm超125mm以下クラッシャーラン C-40 条件変更

	代表機材規格(現地)	単位	構成比	単価(現地)
K	機械	-	9.92	
K1	モータグレーダ[油圧式・排ガス対策型(第1次)] ...	供用日	3.64	15,300
K2	ロードローラ[マカダム・排ガス対策型(第1次)] 質...	供用日	2.82	11,700
K3	タイヤローラ[排出ガス対策型(第1次基準値)] ...	供用日	2.64	10,800
R	労務	-	15.87	
R1	特殊運転手	人	8.43	16,500
R2	普通作業員	人	6.13	13,700
Z	材料	-	74.21	
▶ Z1	クラッシャーラン C-40	m ³	71.94	3,550
Z2	軽油 1.2号 / トロル給油	畧	2.09	126

① 選択した後に右クリックする

② クリックする

③ ※クラッシャーラン C-40 を再生砕石 RC-40 に変更します。

次ページへ続きます

3.希望の単価を選択し転送します。

都道府県 39 高知県 単価年度 2013-10-01 地区 001 安芸1

P県発表データ ▶ 01 資材単価 ▶ 28 砂・骨材 ▶ 02 碎石

名称 碎石 P012802 合計

規格

	コード	名称	規格	単位	単価	備考
8	P0128020080	クラッシャー30~0	C-30	m3	3,550	
9	P0128020090	粒度調整碎石40~0	M-40	m3	3,700	
10	P0128020100	粒度調整碎石30~0	M-30	m3	3,700	
11	P0128020110	再生碎石	RC-30	m3	2,650	
▶ 12	P0128020120	再生碎石	RC-40	m3	2,650	
13	P0128020130	再生粒度調整碎石	RM-30	m3	0	

4.軽油から転送した材料へ 上書きされた事が分かります。

アクションナビ

単価検索 ユーザ単価 再計算

印刷 保存

工事費内訳

- 直接工事費
 - 下層路盤(車道・路肩部)
- 共通仮設費積上額
- 現場管理費積上額
- その他工事費用

共通仮設費積上額 施工パッケージ詳細

直接工事費 ▶ 下層路盤(車道・路肩部)

名称 下層路盤(車道・路肩部) UZhFG9-P133_1

規格 75mm超125mm以下クラッシャー C-40 条件変更 単位

	代表機劣材規格(現地)	単位	構成比	単価(現地)	補正式
K	機械	-	9.92		
K1	モータグレーダ[油圧式・排ガス対策]供用日		3.64	15,300	
K2	ロードローラ[マカダム・排ガス対策]供用日		2.82	11,700	
K3	タイヤローラ[排出ガス対策型]供用日		2.64	10,800	
R	労務	-	15.87		
R1	特殊運転手	人	8.43	16,500	
R2	普通作業員	人	6.13	13,700	
Z	材料	-	74.21		
▶ Z1	再生碎石 RC-40	m3	71.94	2,650	

変更後の材料

施工パッケージを分類から探すのが難しい時に使用します。

施工パッケージを検索する

1.直接工事費を開き、右クリックから施工パッケージをクリックします。
(※右クリックについては14ページ目をご覧ください)

2.例えば、名称検索で「覆工」と検索します。

単価検索 - [施工パッケージ]

ファイル(F) 表示(V) 設定 ヘルプ

施工単価 基礎単価 機械損料 施工パッケージ 建設物価 全日出版 メーカー単価

データナビ

都道府県 11 埼玉県 単価年度 2013-10-01 地区 001 県南

施工パッケージ名称
条件区分
標準単価 積算単価

	代表機劣材規格	単位	単
1	覆工 I-10-1-6		撤去

検索

対象 施工パッケージ 名称 覆工 規格 コード

2.検索結果をダブルクリックする事でツリーが開き
更に条件区分の 選択画面を表示されます。

以前の設計書で使っていた旧単価を、新年度単価へ一括で更新出来ます。

一括更新の方法

1.新年度単価へ更新をしたい設計書を開き、「単価一覧」を開きます。

行番	名称	規格	単位	数量	単価	金額
1	【労務費】					118,900
2	普通作業員		人	2	13,700	27,400
3	特殊作業員		人	1	16,100	16,100
4	軽作業員		人	4	11,500	46,000
5	一般運転手		人	2	14,700	29,400

2.ツールバーの「編集」から、「単価を更新」をクリックします。

- 単価を更新...
- 機械損料を更新...
- 単価を独自単価(Z単価)で更新...
- 全代価の丸め計算行を削除する
- 重機の規格をマーキング
- 重機の規格マーキングを外す
- 単価更新フラグをクリアする

次ページへ続きます

3.希望の単価を選択し転送します。

適用したい年度を選択する

建設物価 全日出版 メーカー単価 歩掛 VT5_WORKING_TEMP...141721226780.VT5

単価年度: 2013-10-01 (選択中) 2015-03-01 2015-02-01 2015-01-01 2014-12-01 2014-11-01 2014-10-01 2014-09-01 2014-08-01

地区: 001 安芸1 歩掛年度: 2013 豪雪 被災地

転送

名称	単位	旧単価	新単価	摘要	使用コード
普通作業員	人	13,700	13,700		A0101010020
特殊作業員	人	16,100	16,100		A0101010010
軽作業員	人	11,500	11,500		A0101010030
一般運転手	人	14,700	14,700		A0101010150

4.単価を確認してから転送をクリックします。
設計書の単価が、指定の金額に変わった事を確認します。

単価を確認

建設物価 全日出版 メーカー単価 歩掛 VT5_WORKING_TEMP...141721226780.VT5

単価年度: 2015-02-01 地区: 001 安芸1 歩掛年度: 2013 豪雪 被災地

転送

名称	規格	単位	旧単価	新単価	摘要	使用コード
20 普通作業員		人	13,700	14,700		A0101010020
10 特殊作業員		人	16,100	17,300		A0101010010
30 軽作業員		人	11,500	12,300		A0101010030
50 一般運転手		人	14,700	15,700		A0101010150

転送をクリック